

キープ・ディスタンス

新年度より公立みつぎ総合病院診療部長兼内科部長を仰せつかりました。内科は、「高度医療から救急医療、さらに在宅医療まで地域に信頼される全人的医療の実践をめざす」という病院の基本理念のもと、風邪や下痢などで受診される方から、消化器、呼吸器、腎臓病、循環器疾患などの慢性疾患のため通院あるいは入院されている患者さまの診療に当たっております。予約外で受診される患者さまにも随時対応してまいりましたが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響があり内科の診療体制を少し見直しさせていただいております。そのひとつが発熱症状の患者さまの午後からの診療です。

院内での感染を防ぐには、一般の患者さまと発熱症状の患者さまが濃厚接触しないように動線を分けることが必要とされています。尾道市では3月下旬に広島県内で2例目となる感染者が確認されたこともあり、当院においても比較的早い段階から発熱診療についての検討を行ってまいりました。現在の建物は、発熱症状の患者さまだけを空間的に分けて診療するようには設計されていません。そのため時間的に分離されるよう、発熱症状で内科を受診される患者さまには、原則として午後からの受診を案内させていただくようにしました。

新型コロナウイルス感染者数の増加にともない、広島県を含めた全国に緊急事態宣言が発出されたことは記憶に新しいことと思います。日常生活においても、感染の拡大を防ぐために2メートルほどのセーフティーディスタンスの確保が推奨されています。当院の待合の椅子にも間隔をおいて座っていただくための表示や入院患者さまへの面会が制限されるなど、距離が意識されるようになりました。

内科を含め、当院に通院中の患者さまのなかには、感染を心配され電話診療などを利用され受診の間隔が長くなり病院との距離ができた方もおられると思います。治療中の疾患によっては、診察のうえ投薬を調節する必要がある方、病状の変化によっては検査・治療が必要となっている場合もあります。しばらくは新型コロナウイルス感染症に影響された状況がつづくと思いますが、これからも地域の医療に貢献できるよう不即不離の距離を意識しながら診療にあたるよう努めてまいります。



診療部長兼内科部長
佐々木俊雄

<爪白癬とは>

白癬は皮膚糸状菌という真菌（カビ）によって生ずる感染症です。白癬菌はケラチンという蛋白を栄養源としており、ケラチンが多く存在する場所である皮膚の表面を覆う角層や、毛や爪に感染します。日本では国民の5人に1人が足白癬、10人に1人が爪白癬に罹患していると推定されています。足白癬を未治療で放置していると、白癬菌は爪に侵入し、爪甲が白色～黄色に濁ってきます。進行すると美容を著しく損なうことはもちろん、爪の肥厚に伴って痛みや歩行困難が生じてきます。また、爪が白癬菌の貯蔵庫になって菌を供給し、足白癬も治らなくなり、他の人への感染源にもなります。爪白癬の診断は、爪の先端からピンセットなどでボロボロになった爪の成分を掻き出し、顕微鏡で真菌要素を確認することで行います。

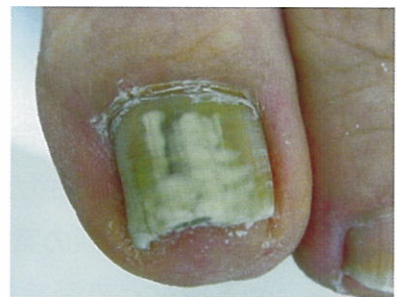


図1. 爪白癬

<治療には時間がかかる>

一度混濁した病変部は元の透明な爪に戻ることはなく、治療しながら新しいきれいな爪が伸びるのを待つこととなります。病変部は爪の伸びに伴い徐々に先端へと押し出され、正常な爪に置き換えられます。したがって、爪全体が混濁している場合には長期間を要します。爪の伸びる早さは手の爪で1か月に約3mm、足の爪で約1.5mmといわれ、完全に生え替わるにはそれぞれ6か月、1年以上の時間が必要とされます。

<内服薬と外用薬があり、どちらもコストがかかる>

爪白癬の治療には内服薬と外用薬があり（表1）、効果の面からは内服薬が第1選択薬とされていますが、合併症や副作用などのために内服できない患者さんや内服を希望されない患者さんも多くいます。現在、処方可能な内服薬としては、テルビナフィン、イトラコナゾール、ホスラブコナゾールがあります。テルビナフィンは1日1回1錠（125mg）の内服を6か月以上継続します。副作用として肝機能異常、汎血球減少などがあるため、内服期間中は定期的な血液検査が必要です。イトラコナゾールは大量短期治療法（パルス療法）のみが保険適用となっており、1回200mgを1日2回（1日量400mg）食直後に「1週間のみ続けて3週間

No.46

爪白癬



皮膚科部長
大原 直樹

休む」というサイクルを3回繰り返します。併用禁忌薬および注意薬が非常に多く、高齢者や常用薬の多い患者さんには使用しにくいところがあります。ホスラブコナゾールは1日1回1カプセル（100mg）を食事に関係なく12週間内服します。ホスラブコナゾールもイトラコナゾールも3か月以内に内服が終了しますが、その後も爪甲内に薬剤が有効濃度を保って数か月以上も貯留し、効果が持続します。

内服薬と比べると治癒率は下がるものの、抗真菌活性に優れた外用薬が近年発売され、保険適用されています。エフィナコナゾールはケラチンへの吸着率が低く、ケラチンからの遊離率も高いことで爪を透過するように設計されており、また、先端にハケがあり、爪全体に塗り広げられるように工夫されています。ルリコナゾールは、足白癬用の外用薬と比較して5倍濃度が濃くなっています。とは言え、爪白癬用の外用薬の完全治癒率は、2剤とも20%未満と低いため、治療効果を上げるためニッパー型爪切りを用いて爪を薄くする、爪に穴をあけるなどの処置を積極的に行っています。外用薬は1日1回、爪が完治するまで毎日外用し続ける必要があります。多数の爪に罹患している場合は、外用に費やす労力も多大で、コストもかかります。治療に1年以上もかかることがあり、通院が途切れる患者さんも多くみられます。

外用も内服もできない場合は、残念ながら治療の対象にはなりません。それでも、爪切りはいつでも行っておりますので、爪が伸びてお困りの方はお気軽にご相談ください。

一般名 製品名	内服薬			外用薬	
	ホスラブコナゾール ネイリン	イトラコナゾール イトリゾール	テルビナフィン ラミシール	ルリコナゾール ルコナック	エフィナコナゾール クレナフィン
写真					
用法用量	1日1カプセル	1日8カプセルを 1週内服・3週休薬を 1クールとする。	1日1錠	1日1回塗布	
治療期間	3か月	3クール	6か月以上	1年以上	
完全治癒率	59.4%	23%	55%	14.9%	17.8%
薬価	1カプセル 817円	1カプセル 354円	1錠 184円	1本 3,492円	1本 5,801円
	1か月 22,879円	1クール 19,835円	6か月 30,946円	月2本使うと1年で	
	3か月 68,636円	3クール 59,506円	12か月 61,891円	83,815円 139,230円	

表 1. 爪白癬治療薬の一覧

有床診療所

有床診にも春が

保健福祉総合施設附属リハビリテーションセンター(有床診療所)は入院患者さま(19床)、外来患者さまに対し診療及びリハビリテーションを行っています。急性期の医療機関からの継続したリハビリが必要な方や、在宅・施設で生活機能面の低下がみられる方などが入院し、午前・午後と理学療法や作業療法、言語療法などのリハビリを短期集中的に行い、多職種にてサポートしています。

今年は新型コロナウイルス感染予防のため入院生活においても様々な制限がある中、患者さまは熱心にリハビリに取り組みおられます。その中でささやかではありますが3月末にお花見を開催しました。音楽療法士の方にも参加していただき、咲き始めた桜の木の下で音楽を楽しみました。皆さま表情も良く、春の風を感じ少しリフレッシュできたのではないかと思います。

新型コロナウイルスの影響にて患者さまには不自由をおかけしている面もありますが、リハビリに専念できるようスタッフ一同サポートしてまいります。



みつぎの苑
デイケア

デイケアでの1日

通所リハビリテーション(通称デイケア)は、リハビリテーションを中心に、入浴やお食事、レクリエーション行事等の日常生活プログラムにご参加いただく日帰りのサービスです。

午後からの1時間程度のレクリエーションでは、準備体操から始まり風船バレーやパターゲームなどの体を動かすものから、連想ゲームやしりとりなど脳を鍛えるものまで様々なことを行っています。

レクリエーション中は皆さん真剣に取り組み、大変盛り上がりおられます。

帰宅前にはカラオケがあり、これを楽しみに来られる利用者さまも多くいらっしゃいます。

これからもレクリエーションやリハビリを通じて楽しんで体力をつけていただき、ご自宅で自立した生活が営めるよう支援していきます。



ケアハウス「さつき」だより

花壇・菜園でこの“ひととき”を見て楽しみ、食べて楽しんでみませんか？

桜の花が終わりを告げ、やがて鮮やかな青葉が茂る初夏を迎えようとしています。このところ新型コロナウイルス感染のニュースで、今一つ気分が優れません。そんな中でもケアハウス「さつき」西側の花壇にはチューリップやパンジー、ピオラが咲き誇り、玄関横にはガザニアの黄色い花が、見る人の心に安らぎを与えてくれています。

初夏にはバラも咲き、夏には西日を遮る一面のグリーンカーテンを造りたいと思っています。また、前庭の菜園は、夏野菜の植え付け準備をしているところですが、スナップえんどうやキャベツ、タマネギ、おたふく豆等を栽培中です。アスパラガス、ジャガイモも芽を出してきました。夏野菜は、トマトやきゅうり、スイカ、メロン等々、色々な物を植えてみたいと考えています。それに、サツマイモを作って総合施設のとんど祭りに焼き芋等はどうか？とも考えているところです。



収穫した野菜は事務室を通し、特に料理を要さないスイカやトマト等は、みんなで食べたり、手を加えなければならない物は、希望される施設入居者の方や、グループホームへ配って、皆さんに喜んでもらっています。

皆さんは「見て楽しみ、食べて楽しんで」くれる人
私は「それに作り甲斐」を感じる人

ケアハウス「さつき」入居者 H

★ ホームページ「みつぎ病院」で検索

みつぎ病院

Q 検索

公立みつぎ総合病院プロデュース

介護食クッキング講座を始めました



介護食レシピ集

介護食のレシピと動画を
献立ごとに食事形態を分けてご紹介します。

食事は人生の楽しみのひとつですね。
ご自宅でも介護食を美味しく食べて
いただくためにこのページを作りました。



当院のホームページをご覧ください。

介護食の作り方を動画にすることができました。まだまだメニューは、少ないですがこれから内容を充実させるために頑張っていきます。



人間ドックを受診しましょう!

当院の人間ドックでは、皆さまの健康を増進し発病を予防するとともに、病気の早期発見・早期治療を目指して、総合的な健康支援を行っています。

人間ドックは1日ドックと2日ドックの基本検査項目に加え、脳ドックなど各種のオプション検査を用意しています。

受診日当日に医師による健診結果の説明と保健師による保健指導を全員に実施しています。また、健診後のフォローで継続的な関わりを持たせていただいています。

健康で充実した日々を過ごしていただくため、年に一度は人間ドックを受診して健康管理にお役立てください。

皆さまの満足と安心を大切に、スタッフ一同笑顔でお待ちしています。

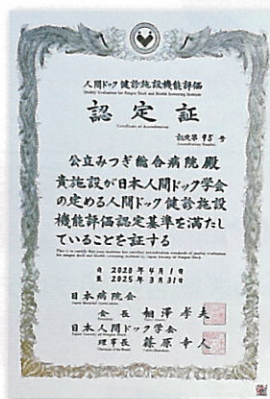


受付・ラウンジ



公立みつぎ総合病院は「人間ドック健診施設機能評価認定施設」および「日本人間ドック学会保健指導実施認定施設」です。

当院では受診者の皆さまが安心して健診を受けられるよう、平成18(2006)年1月16日に「人間ドック健診施設機能評価」の初回認定を受けました。その後、5年毎に書面・訪問調査により評価が行われ認定更新しています。更新3回目となる今年1月30日には訪問調査が行われ、4月1日より、引き続き評価認定を取得しています。



～人間ドック健診施設機能評価とは～

人間ドックを行っている医療・健診施設を対象に、健診施設の質の改善を促進するため全96項目の第三者的評価を行う事業です。主な内容として「理念達成に向けた組織運営」「受診者中心の良質な健診の実践」「継続的な質改善の取り組み」があげられます。

評価基準はどの項目も、受診者の皆様が安心して質の高い人間ドックを受けられるかどうか重点を置き、専門教育を受けた調査員が実地調査を行い、その結果をもとに人間ドック健診施設機能評価委員会で判定しております。加えて、日本病院会役員会で承認を得ています。

認定証はこれらの調査項目において、日本人間ドック学会が定めた基準をすべてクリアしたことを証明するものです。

人間ドック理念

私たちは当病院の基本理念を踏まえ、安心できる良質の包括的な健康支援を通じて、地域社会に貢献します。



人間ドック基本方針

1. 疾病の予防と早期発見・早期治療をめざして、総合的な健康支援に貢献します。
2. 自己研鑽に励み、高い知識と技術を習得し、健診の精度・質の向上を実現します。
3. 健康長寿に向けた生活習慣改善を支援するため、全力を尽くします。
4. 受診者の満足と安心を得られるよう、心の通った継続的なサービスを提供します。
5. 皆様の人権を尊重し、個人情報の保護に十分配慮します。

● 受診コース一覧

	健診日	所要時間	昼食	料金(税込)
日帰りドック	月～金	午前8時20分～午後2時頃まで	あり	36,300円
1泊2日ドック	月・木	午前8時20分～翌日の午後1時頃まで	あり	58,850円
脳ドック	水・金	午後1時～午後3時頃まで	—	34,100円
日帰り+脳ドック	月～金	午前8時20分～午後2時頃まで	あり	60,500円
1泊2日+脳ドック	月・木	午前8時20分～翌日の午後1時頃まで	あり	79,750円

- ・上記の健診料金は、全額自己負担で受診した場合のセット料金です。
- ・お申し込みの団体(保険者や事業所)によっては、検査内容が一部異なる場合があります。健診費用や助成(補助)についても、お申し込みの団体にお問い合わせください。
- ・1泊2日コースの宿泊料金は健診料金に含まれています。
- ・その他各種オプション検査をご用意しています。お気軽にお問い合わせください。



● ご来院の皆さまへお願い

当院では、新型コロナウイルス感染症対策を実施しております。

- 発熱など、体調不良が認められる方は、事前にご連絡いただき、来院を控えてください。
- 来院時には、必ずマスクの着用をお願いします。
- 入館時及び受付時に検温・問診等で健康状態を確認させていただきます。
- 入口等にアルコール消毒液を用意しますので、病院への入館時と退館時のほか、健診中も適宜手指消毒をお願いします。アルコールを使えない方には、界面活性剤配合のハンドソープ等により手洗いをお願いします。
- 密集・密接を防ぐことにご協力をお願いします。



人間ドック・健診のご予約、お問い合わせ
 公立みつぎ総合病院 人間ドック健診受付 TEL0848-76-1111(代表)

職員の紹介

公立みつぎ総合病院に就職し9年目になります。今年の4月から回復期リハビリテーション病棟の配属になり、新たな環境での仕事に、新鮮な気持ちで取り組んでいます。これからも患者さまに寄り添ったリハビリテーションを提供できるよう、日々の研鑽を続けていきたいと思ひます。プライベートではランニング、ロードバイクを趣味程度に楽しんでいます。尾道駅周辺のお寺を巡りながら30分～1時間程度ゆっくり走ると、季節の移ろいを感じることができ、気持ちも落ち着きます。将来は子どもと一緒に色々なところを巡るのが夢です。これからもご指導のほどよろしくお願いいたしします。



言語聴覚士
瀧野 剛

公立みつぎ総合病院で介護福祉士として就職し2年目になります。老健みつぎの苑一般棟に勤務しています。利用者さま一人ひとりに向かい個々として接することを心がけて関わっています。また、コミュニケーションを大切にし利用者さまやご家族さまの希望に寄り添った介護ができるように支援していきたいと思ひています。これからも先輩方にご指導いただきながら安心して過ごしていただける環境をつくることのできるよう頑張ります。よろしくお願いいたしします。



介護福祉士
迫田 浩美



公立みつぎ総合病院に入職して3年目を迎えます。それぞれに様々な人生を歩んでこられた患者さまとの出会いの中で私自身も多くのことを経験させていただきました。



臨床心理士
松本 愛

カウンセリングによって、今ある状況を変えることはできません。しかし、誰かと一緒に「今ここで」の気持ちや考えを話し合うことは、こころを整理・理解することにつながります。病気への向き合い方、これからの生活への不安、これまでの人生への想いなど、ゆっくりと時間をかけて、ご自身が感じている「問題」と向き合うお手伝いができればと思ひます。

より豊かな時間を過ごしていただけますように願いを込めて、心のケアに努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたしします。

公立みつぎ総合病院に看護師として就職し3年目になりました。入職してからこれまで外科・脳神経外科病棟の第2病棟で勤務しています。第2病棟はICUもあり急性期病棟としての役割があります。入院時は生命の危機に直面していた患者さまが徐々に回復していく姿や、手術により苦痛が取り除かれ笑顔で退院していく姿は、何度関わっても感動します。私は、日々の忙しい業務の中でも患者さま・ご家族と関わる時は常に笑顔を忘れないよう心がけています。様々な患者さまとの出会い全てが、自分の経験となり学びとなることに感謝し、患者さまに寄り添う看護を行っていきたくと思ひます。



看護師
田名後 愛莉

訪問看護ステーション「みつぎ」

～24時間・365日安心を支える
訪問看護サービス～

訪問看護ステーション「みつぎ」では、看護師・保健師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士などの専門職が医師の指示にもとづき、24時間対応体制をとり、自宅はもとよりサービス付き高齢者住宅・グループホームなどにも訪問しています。

訪問看護では

- ① 医師の指示による点滴・カテーテル管理（胃瘻など）・インスリン注射など
- ② 身体清拭・洗髪・入浴介助・排泄の介助・床ずれ予防や処置・薬の管理指導などの療養生活上の看護
- ③ 人工呼吸器・胃瘻・在宅酸素など医療機器管理
- ④ 小児や精神疾患・認知症などの看護
- ⑤ がん・難病など施設や緩和ケア病棟などとの連携による終末期ケア（在宅での看取り）
- ⑥ 拘縮予防や歩行、嚥下などの機能練習、在宅でのリハビリテーションなどを行っています。



リハビリスタッフによる訪問

また、医療ニーズをかかえて退院される利用者さま及びそのご家族に向けても、病院スタッフ・地域包括ケア連携室・ケアマネジャーなど多職種・多機関などと連携して相談や訪問を行っています。

小児から高齢者まで、安心して住み慣れた地域で生活できるよう、支援させていただきます。ぜひご相談ください。



訪問診療との連携



訪問看護ステーションスタッフ

●問い合わせ先 訪問看護ステーション「みつぎ」 TEL 0848-76-2811

公立みつぎ総合病院 ホームヘルパーステーション

ホームヘルパーステーションは、介護保険の訪問介護と介護予防訪問サービスを提供するとともに、障害福祉サービスである居宅サービスも提供しています。訪問介護は、利用者さまの「生活の支援」であり、利用者さまはもとより介護者の介護量軽減を図り、可能な限り居宅において自立した生活を営むことができるよう支援しています。他職種との連携を図り、利用者さまのニーズに沿い、支援を行っています。



訪問介護スタッフ

●問い合わせ先 御調保健福祉センター内 TEL 0848-76-2235

脳神経外科(脳血管内治療専門外来)の 診療日および窓口の取扱い日時の変更について

令和2年6月1日から、第1・3土曜日の脳神経外科(専門外来)の診療が第1・3金曜日に変更となりました。

それに伴い、第1・3土曜日の窓口の取扱いも中止させていただきます。そのため、お支払いや診断書等のお申し込みは、取扱い時間内にお越しくくださいますようお願い致します。

●脳神経外科(専門外来)の診療日の変更

変更前	変更後
第1・3土曜日 8:30~12:30	→ 第1・3金曜日 14:00~17:00

※上記の曜日以外で変更はございません。

●窓口の取扱い日時

平日(月~金曜日)	8:00~17:15 ※お支払いは8:30~
土・日曜日、祝日、 年末年始(12/29~1/3)	取り扱いなし



産婦人科外来について



令和2年5月22日から、毎週金曜日に産婦人科外来の診療を行っております。

診療日：毎週金曜日(予約制)
診察時間：10:00~15:30



休診日の変更について



休診日：土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12月29日~1月3日)
※土曜日の透析治療は行っております。

ご意見、ご感想をお聞かせください

患者さまならびに地域の皆さまと共に作成したいと考えております。ご要望をお待ちしております。

TEL 0848-77-0955 FAX 0848-77-0956
E-mail: tiiki@mitsugibyouin.com
ホームページは「みつぎ病院」で検索

発行：尾道市立総合医療センター
公立みつぎ総合病院 広報誌編集委員会